

「 学 び の す す め 」

杉戸町立杉戸中学校長

杉戸中学校の目標は「自主・自立」の心と技を持った生徒を育てることです。「自主・自立」とは、「他の人の力を頼らず、自分の力で、判断し行動し、自分の責任で物事を処理する」そして、「自分の力で生活していく」ということです。この「自主・自立」の心と技を、中学校の3年間で是非とも身につけて欲しい。なぜなら、それが「なりたい自分になる」ために、自分の「夢や希望」を実現するために、どうしても必要だからです。

けれども、「自主・自立」の心と技は、いきなりは身に付きません。だから、3年間があります。この時間を有効に活用することが大切です。時間は、これを有効に使う人には親切ですが、無駄に使う人には実に不親切です。3年間で、身に付ける「自主・自立」の心と技の量と質が大きく異なってしまうのは、そのためです。そこで、杉中の生徒一人ひとりが貴重な時間を有効に活用できるように、先生方が力を合わせて、この「シラバス」を創りました。シラバスは、中学校の学習を効果的に進める上での「道しるべ」であり、学習の「てびき」でもあります。だから、「シラバス」には、

- 1 各教科等ではどんな学習がどんなふうに進むのだろう。
- 2 好きになるコツ、得意になるコツはなんだろう。
- 3 そして、自分の成績はどんな付け方になっていくのだろう。

そのために、

- 4 どんな学習内容をどれくらいの時間勉強するんだろう。
- 5 それは、いつごろからいつごろまでなんだろう。
- 6 そして、いつごろまでに、どんな力を付ければいいのかいんだろう。

だから、

- 7 予習や復習は何をどんなふうにやればいいのかいんだろう。

といった疑問への応えを書きました。

目指すところは、学習における「自主・自立」つまり、「自学・自習」の心と技を身につけることです。学校では、授業で勉強を教えます。けれども、自分が学ぼうとしないと勉強したことが頭に入ってきてません。勉強したことを使って見ないと、自分の力になりません。ちなみに、勉強のコツは、五感をフルに活用することだと言われています。目だけでなく、口も使う。耳も手も使う。たとえば、

- ア ただ読むだけでなく、線を引きながら読む。
- イ 線を引いたところを、何度も声に出して読む。
- ウ 声を出して読んだ回数だけ、ノートに書く。
- エ 書き疲れたら、問題を数多く解いてみる。

そうすればきっと効果がある。そんなふうにする人がたくさんいます。けれど、どんな勉強方法が自分にあっているか。本当のところは、やってみないと分かりません。だから、自分なりの努力がどうしても必要です。そのための時間も必要です。

シラバスには、学ぶためのコツが満載されています。上手に活用して、「自学・自習」の心と技を身につけて欲しいと思います。そして、杉中の一人ひとりが「なりたい自分」を確実に実現して欲しいと思います。